

kintoneプラグインを活用した 業務カイゼン 事例集



お問い合わせ

メシウス株式会社 Enterprise Solutions事業部 営業部

メール：es.sales@mescius.com

電話：050-5490-4660

- MESCIUSはメシウス株式会社の登録商標です。
- サイボウズ、Cybozuおよびkintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。
- その他記載されている製品名は各社の登録商標または商標です
- 2023年11月 第4版

4版



krewは業務カイゼンを加速するkintoneプラグイン

krewシリーズはkintone上で動作するプラグインソリューションです。kintoneの機能を高める3つのラインナップを提供しています。本冊子ではkrewシリーズを活用して実際に業務改善を果たした事例を詳しく紹介。ご自身の組織の業務カイゼンのヒントが詰まっていますので、kintoneをすでに利用している方や、これから検討を始める方のご参考になれば幸いです。

krewの3つのラインナップと検討をおすすめしたい方



krewシリーズの価格・機能・お試し版の詳細はWebサイトから <https://krew.mescius.jp>

金融業・保険業 株式会社セブン銀行	04
情報通信業 リーグル株式会社	06
人材サービス業 ディップ株式会社	08
ホテル・旅館運営 星野リゾート	10
運輸業 京王電鉄株式会社	12
製造業 日産自動車株式会社	14
医療・福祉 株式会社ケアサポート	16
情報通信業 株式会社サイバーエージェント	18
生活関連サービス業・娯楽業 株式会社コロプラ	20
製造業 ジャトコ株式会社	22
士業・コンサル業 社会保険労務士法人めぐみ事務所	24
情報通信業 株式会社ソウルウェア	26



業種	金融業・保険業
利用用途	CRM/SFA
導入製品	krewSheet

「いつでも、だれでも、安心して」使えるATMにより革新的な金融サービスを提供する「セブン銀行」。2015年7月に立ち上げた法人営業部ではExcelで管理していた顧客情報や営業日報、商談案件をすべて「kintone」+「krewSheet」に移行した。kintoneを営業支援システムとして使うことで営業担当のデータ活用の意識が変わったという。

顧客管理から営業日報まで、旧態依然としていたExcel管理をkintoneに移行できたのはkrewSheetでデータ活用の意識が変わったから

※記事の内容は取材当時（2018年7月）のものです



- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客管理・案件管理がExcel ● ファイルを消してしまう ● データが壊れる | <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客データの一元管理 ● 業務変化に合わせたシステム変更が柔軟 | <ul style="list-style-type: none"> ● データの入力性・視認性向上 ● 意識が変わり入力率が向上 ● 案件をよく見るようになった |
|---|--|--|

■ kintone導入前の課題

Excelによる顧客管理・案件管理に限界

法人向けの資金移動サービスなどを取り扱っているセブン銀行の法人営業部では2015年の発足当初、シンククライアントの仮想環境下でExcelファイルを共有し顧客管理と案件管理を行っていた。しかし、ファイル保存時に文字コードが壊れて文字化けしたり、ファイルを消してしまうといった事故が1か月に1~2回ほど発生していた。

法人営業部で管理している顧客情報は法人名、本社所在地、電話番号といった一般的な情報のほか、登記情報、口座情報、手数料体系などの情報が50項目に及ぶ。営業案件は顧客に基づいた活動履歴管理が必要であり、ファイル共有ではなく、データベースで情報を一元管理する必要があった。

■ kintone導入のポイントと効果

業務で発生する要件の変更要望に瞬時に対応

Excel管理の柔軟さは残しつつ業務内容にフィットしたアプリを自分たちで作れるもの、利用者の人数、コストなどの観点からkintoneを採用。項目追加や業務に合わせた一覧画面をすぐに作成できるといったシステム管理の柔軟性を高く評価している。

■ krewSheet導入の前の課題

歯抜けが増える。顧客情報と履歴情報を同時に見たい

kintoneによりデータが一元化され、顧客管理に紐づいた案件管理ができるようになったが、入力操作に対する課題と要望が上がる。50項目に及ぶ入力フォームはスクロール量が多くなり歯抜け項目が増えてしまった。顧客情報と対応履歴情報を1画面で見たいという要望も強かった。こうした課題を抱えながら1年ほどkintoneだけで業務を回していたが、ソフトクリエイイト社が定期的開催しているkintoneの活用セミナーに参加したときに、Excelのような一覧画面でkintoneの入力・操作ができるkrewSheetが刺さったという。

■ krewSheet導入の効果

データ登録に対する意識が変わる

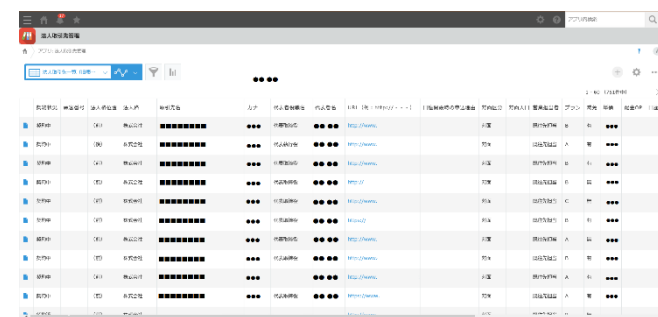
すぐにkrewSheetを導入し、顧客情報の一覧画面に適用したところ、Excelのように表示・編集できるようになり未入力項目が大幅に減った。フォントを小さめに設定し必要なデータを1画面に収まるよう表示したり、未入力項目に条件付き書式で色を付けるなど視認性を工夫したりしたためだ。顧客データに紐づいた案件情報を1画面で見られる点も評価が高いという

さらに、Excelファイル時代と違い情報が共有されやすくなったため「みんなに見られている」という意識も入力率向上につながったそう。

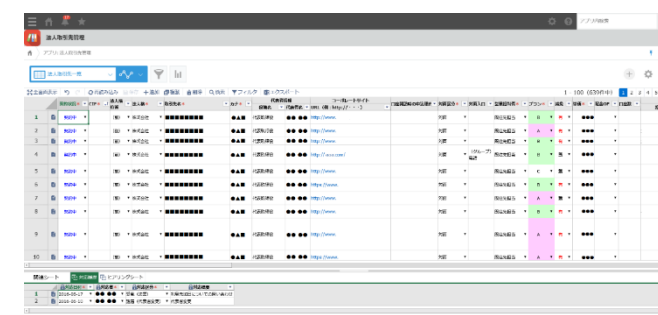
成約件数の増加にも貢献

krewSheetの導入と同時に新たな顧客集客チャネルとして、Webサイトに資料請求フォームを設置し、フォームから申請された顧客情報はCSVを経てkintoneに取り込むようにした。この一覧をkrewSheetで作成したところ、営業部員が良く一覧を見るようになり、顧客対応が速くなった。結果として、資料請求フォームからの成約増により12月の施策始めから年度末の3月までの間に年間成約件数を15%上積みすることができた。

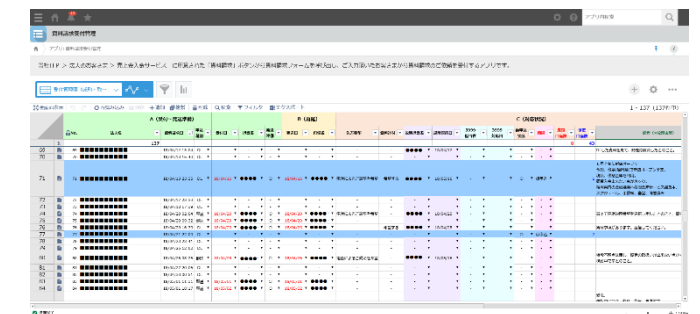
現在はkintoneで作成したアプリの全てにkrewSheetを適用しているとのこと。詳細画面に入って入力することはほとんどなくなったそうである。今後は、セブン銀行の子会社の株式会社セブン・ペイメントサービスでもSFAとしてkintoneの利用を検討中とのことだ。



kintone標準の一覧画面



krewSheetの一覧画面



資料請求フォームから取り込んだkrewSheetの一覧

krew 導入で変わったこと

Excel時代は、誰かが管理してくれているからいいやという感じで、放置されていた部分もあったのですが、kintoneでデータ管理をするようになって、更新したいときに更新できるしすぐにkrewSheetの画面に反映されます。それがみんなに見えるからこの情報は自分が入れなければいけないんだという意識を持つようになったのだと思います。



矢澤 祐介 様
営業推進部 主任調査役

企業プロフィール

株式会社セブン銀行

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1
<https://www.sevenbank.co.jp/>

導入支援

株式会社ソフトクリエイト

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1
 渋谷クロスタワー
<https://www.softcreate.co.jp/>

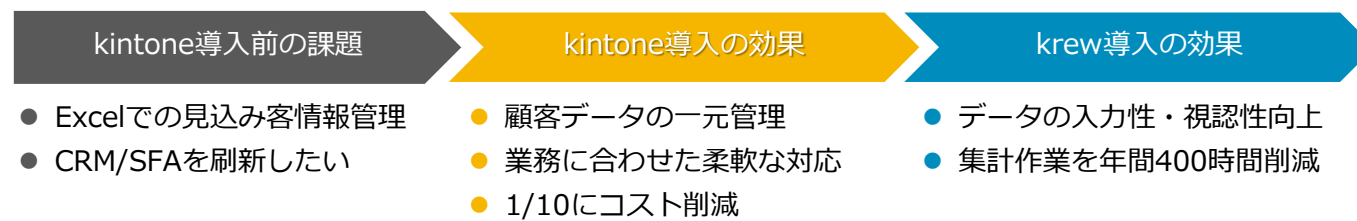


業種	情報通信業
利用用途	CRM/SFA
導入製品	krewSheet

B to Bにおけるマーケティングや新規営業分野に特化した事業を展開するリーグル株式会社では、多岐にわたるExcel業務や顧客管理として活用してきた営業支援システムをkintoneによって刷新し、kintoneプラグインである「krewSheet」を合わせて活用することで業務における脱Excelに成功している。

kintoneでも脱Excelできない業務を完全に解消。Excelの使い勝手をクラウドで再現できるkintoneプラグイン「krewSheet」

※記事の内容は取材当時（2018年7月）のものです



■ kintone導入前の課題

複数人で行うExcel業務の限界

主にIT・テクノロジー関連業界のB to Bマーケティングに強みを持つリーグル株式会社は接点構築からリード育成まで含めた質の高いマーケティング支援サービスを提供。新規案件の獲得から展示会フォローの充実、営業マンパワーの強化、代理店開拓や活性化など多岐にわたる分野でスタートアップの営業支援をクラウド的なサービスとして活用できるインフラを整備している。

そんな同社では、さまざまな顧客のセールス・マーケティング支援を行っている関係上個人情報や機密情報を含む獲得リードを統一した仕組みに格納することが難しくリストの受け渡しおよびアプローチ結果の報告にExcelを用いていた。しかし、Excelでの運用について課題が顕在化していたという。

数万行あるExcelファイルに複数人が同時にアクセスするとファイルが固まるなどの問題があり、担当者ごとにExcelファイルを分割して各自アプローチした内容を入力。営業時間が終了した後にExcelを結合し直して集計するというやり方を続けていた。一日の業務が終わった夕方からの集計作業は手間がかかり、それだけで終了時間が遅くなってしまった。

柔軟性が求められる業務に適したシステムを模索

同社では顧客から提供されるリストだけでなく、独自の顧客リストを収集・保有している。この顧客DBはCRM/SFAパッケージで運用していたが、この環境についても刷新が求められていた。顧客の要望に応じてヒアリング項目を追加・変更することが頻繁にありカスタマイズが必要な場面も多いのだが、裏側でDB同士が連携しているため、項目追加のような簡単なカスタマイズだけでも、外部企業にその都度依頼し、対応に数か月かかることもあったためだ。変化に対応しづらく費用が高額だったこともあり、Excel集計業務の改善と合わせ、顧客管理システムも刷新することになった。

■ kintoneとkrewSheetの導入

Excel同様の使い勝手や視認性の高さが求められる

同社ではGoogleが提供するG Suiteを契約していることからExcelの代りにGoogleスプレッドシートも検討された。しかし顧客DBや担当者DBなど複数のDBを連携させて使うといった活用には向かないことから、サイボウズが提供するkintoneに着目し検討を開始したところCRM/SFAの置き換えは可能だと判断。しかし、Excel業務の置き換えについては現場から否定的な意見が出た。一覧性や視認性の面で従来のExcelに慣れすぎてしまっていたのである。

kintoneの魅力を最大限に引き出すkrewSheet

そんな折に同社のグループ会社からExcelのように活用できるプラグインがあるという話を聞きkrewSheetの情報を得る。すぐに現場にkrewSheetを導入したところ、従来のExcel同様の使い勝手が確保できるようになり、進まなかった現場への展開が一気に加速。現場からは「まさにこれを持っていました」と高く評価されたという。krewSheetであれば、生産性を落とすことなくkintoneに顧客管理基盤が移行でき、集計作業の負担も軽減できると判断され、krewSheetは同社の営業活動を強力に支援する業務基盤として採用されることになった。



kintoneとkrewを活用することで業務時間を400時間削減

■ krewSheetの導入効果

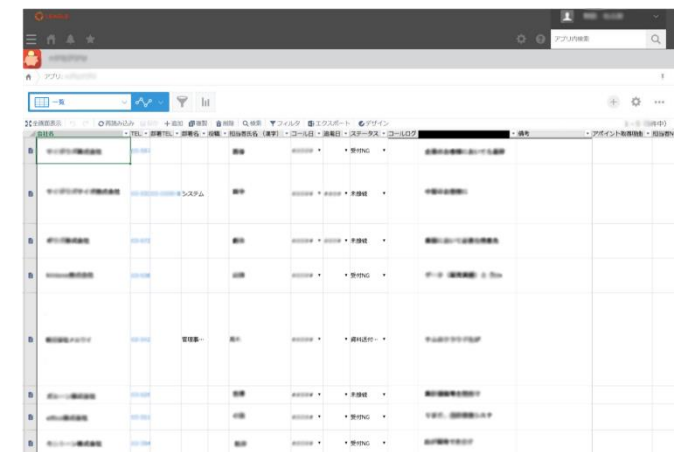
10分の1にコスト圧縮。年間400時間を削減

現在は30名の従業員がkintoneおよびkrewSheetを活用しており、サービスの中心となる営業活動を行うためのリスト表示にkrewSheetを使い、Excelの使い勝手を維持したまま業務を行うことができるようになった。また、顧客DB管理についてもkintoneに置き換えた。

ほかにも社内向けポータルを提供をはじめ、ファイルサーバ内の教育資料の共有、給与テーブルの可視化、人事評価、社員名簿、IT部門の資産管理などクラウド化できていなかった業務の対応が可能になった。結果として、社内にExcelファイルはほとんど残っていない。正直krewSheetがなければここまでkintoneを使いきれなかったと評価する。

また、当初課題だったCRM/SFAのコストも10分の1程度に圧縮することに成功。作業しやすいよう担当者ごとに分割していたExcelの集計作業は年間400時間あまりを削減した。今ではkintoneにアクセスできれば、セキュアな環境でどこからでも業務ができるそう。

現在は勤怠管理や経費精算、ワークフロー、採用管理システムといったクラウドサービスを活用しているが、今後はAPIを通じてkintoneに連携させることでクラウドシステムのハブとして活用できる環境を整備したい考え。その中でExcelの使い勝手が必要な場面にはkrewSheetを活用していきたいとのこと。



Excelの使い勝手を維持し活動内容をkintoneに直接入力

megaphone krewSheetが脱Excelを推進

Excelが業務に深く根付いているのは、ある意味Excelが優秀だからこそ。この業務を置き換えるのはとても困難でしたが、krewSheetのおかげでようやく置き換える目途が立ちました。脱Excelを可能にしたのは、krewSheetがあったからだと思います。

野路 祐太郎 様
リーグル株式会社
代表取締役社長



企業プロフィール

リーグル株式会社

〒107-6013 東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル13F
<http://leagle.co.jp/>



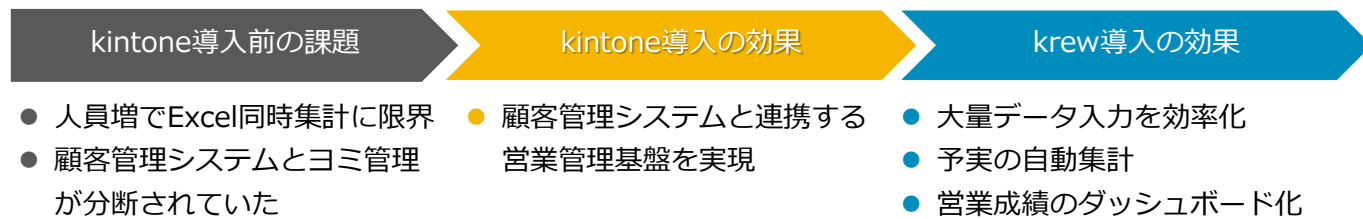
Labor force solution company

業種	人材サービス業
利用用途	CRM/SFA
導入製品	krewSheet／krewData／krewDashboard

日本最大級のアルバイト・パート求人情報サイト「バイトル」を手掛けるディップ株式会社は営業担当者が利用するヨミ管理の基盤としてkintoneを導入。現場の入力支援のためには「krewSheet」を活用。さらにアプリ間のデータ集計に「krewData」を、データ可視化には「krewDashboard」を駆使し、いち早く現場へ情報提供を行う環境を整備している。

情報システム部門の支援なしにデータの結合、集計を容易に実現 三位一体のkrewシリーズが営業現場と管理業務を強力支援

※記事の内容は取材当時（2019年10月）のものです



■ kintone導入前の課題

事業規模拡大の中、Excelでの管理が限界を迎える

人材サービス事業を中心に多彩な求人情報サイトを運営するディップ株式会社は新たなビジョンのもとAI・RPAサービスを開発・提供するなど事業規模が拡大している。

そんな中、売上も含めた営業数字の管理と業務改善を行っているBPR推進課では営業各課で行われたヨミ管理を管理部門で集計しているが、100を超える営業課ごとにExcelファイルを用意し、また事業部で集計をするために、各課から数字を集計するための別ファイルが用意され、二重管理や誤った操作でファイルが壊れるなどの課題が顕在化。さらに、現場で入力したExcelの数字と基幹システム内の数字が合わず月次が締められない事態も発生した。

入力、集計、基幹システムとの突合など各部署においてExcel運用に限界を迎えたため、当初は会計システムのカスタマイズを検討したが、事業部ごとに管理項目の変更が頻繁に起こるために断念。システム部門に依頼せずともカスタマイズが容易な自由度の高い仕組みを検討しkintoneにたどり着く。

■ kintone移行期の課題

大量入力に対する現場の使い勝手

ヨミ管理のExcelをkintoneに置き換えるにあたり、まず日報など売上に直結しない業務から始め、同時にヨミ管理アプリを作成。しかしヨミ管理の運用を開始すると、多くのデータを登録する案件管理では現場からExcelのような使い勝手が求められた。これを解消するため入力操作性の向上を模索する中で知ったのがkrewSheetだった。現場が求めるExcelの使い勝手がkintone上で再現できると直感したがExcelのような管理に逆戻りしてしまう懸念もあった。それでも現場の声にこたえるためkrewSheetの導入を決断した。

複数アプリにまたがる情報の集計

krewSheetで入力課題は解決したがヨミ表の集計業務は負担が残っていた。kintoneのカスタマイズで対応するしかないと思ったころ、複数アプリのデータを自動集計できるkrewDataとグラフやピボットテーブルでデータを可視化するkrewDashboardが登場。カスタマイズせずプラグインで課題を解決できるkrewDataとkrewDashboardの導入を決める。こうしてkintoneを営業管理のプラットフォームとして仕上げることに成功。Excelライクな操作性のkrewSheetを入力インターフェースに、情報の集計はkrewDataを使い、krewDashboardで可視化すること

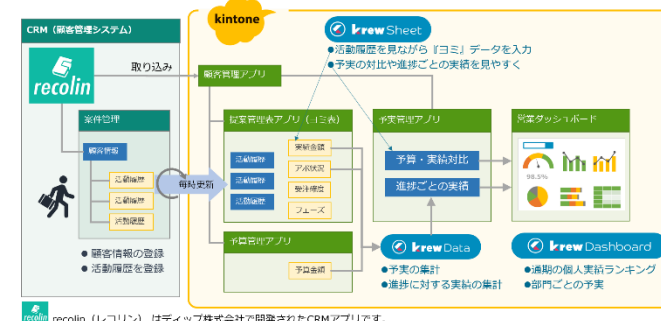
でkintoneを現場の業務改善に生かす環境に上げることができた。

■ kintone + krewシリーズの導入効果

CRMと連携した営業のヨミ表管理を効率化

営業担当者ごとの活動履歴をCRMに入力するとkintoneの提案管理アプリ（ヨミ表）に取り込まれる。この情報に提案金額や進捗ごとの状況をkrewSheetで入力。krewDataで予算管理アプリと集計しkrewDashboardで部門ごとの実績や個人実績を視覚化している。

kintone とkrewシリーズを併用することでExcelの使い勝手そのままに数字の入力や管理が行えるようになったことはもちろん管理部門側が行う集計作業の工数が大きく削減できたという。以前は1日かけてヨミ表を作成することもあったが、今では集計も含めて作業自体が不要になった。実際の営業の接触率や商談化率の向上も実現できたそうである。



krewシリーズを使ったシステム概念図

プラグインで集計作業の負担を大幅軽減

異なる指標での集計が求められた場合でも、以前はExcelを再集計していたが、今はkrewDataからボタン一つで情報を更新できるようになった。入力インターフェース面でkrewSheetが現場にもたらす効果は大きいですが、数字を管理する上でのデータクレンジングや結合、そして見える化のための環境を考える上でもkrewSheetとkrewData、krewDashboardがそろっていることの効果を実感しているとのこと。

現状は営業担当者や管理部門も含めて1,600ユーザーがkintoneを利用。アプリ数は試行錯誤も含め1,000を超える。今はBPR推進課だけがアプリ作成権限を持つが、いずれはスタッフ部門にも広げていきたいという。

企業プロフィール

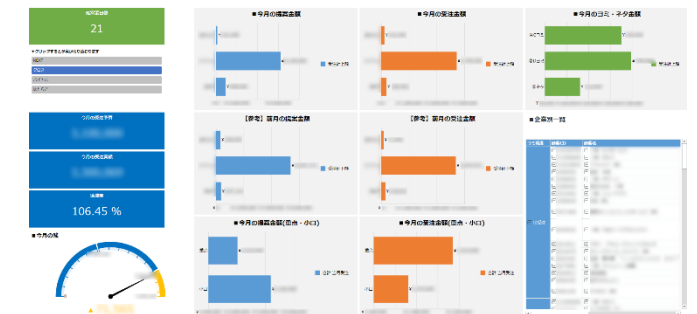
ディップ株式会社

〒106-6231 東京都港区六本木3-2-1

六本木グランドタワー31F

<https://www.dip-net.co.jp/>

krewSheetを適用した実績集計アプリの一覧



krewDashboardで実績を可視化



kintone活用の幅を広げたkrew

レコード数が多いものや営業に直接入力してもらうようなアプリはkrewSheetを適用しています。基本的にはこちらの判断で適用しますが、要望があればその都度検討して対応しています。ここまで活用の幅が広がったのはkrewシリーズのおかげです。（橋本様）

krewSheetに入力された情報を集計する機能を半年ほどかけて作り込んでいましたが、krewDataやkrewDashboardがあるおかげで、今では1か月ほどの工数で簡単に集計のフローが構築できます。保守性はもちろん、工数削減にも大きく貢献しています。（安西様）

橋本 明日香 様（左）
人材サービス事業本部
事業企画統括部
事業管理部BPR推進課
課長



安西 美結 様（右）
同課

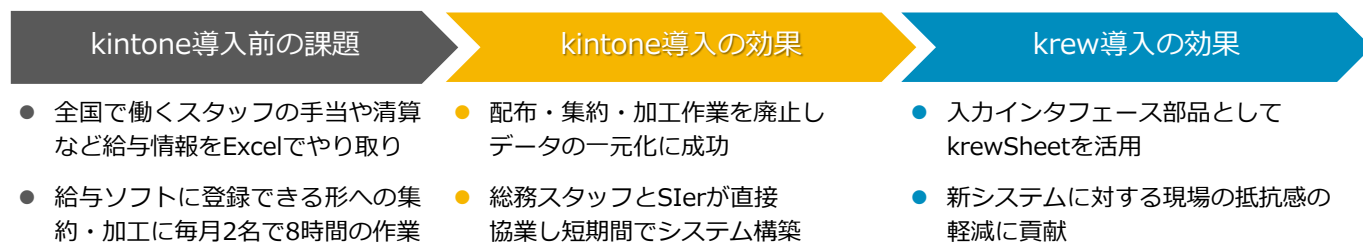
星野リゾート

業種	ホテル・旅館運営
利用用途	給与処理
導入製品	krewSheet

「星のや」「界」「リゾナーレ」といった極上の癒しのひとときを味わえるリゾート施設を多数展開し、国内だけでなく海外にまで一度は訪れてみたいと名が知られる星野リゾートでは、全従業員の給与処理の完全自動化を目指している。その一部を「kintone」+「krewSheet」を活用し一歩前進させることに成功した。

国内外約40施設で働く従業員の給与処理の完全自動化を目指し、総務担当者が使いやすい入力画面でkintoneによるシステム化を前進

※記事の内容は取材当時（2019年11月）のものです



■ kintone導入前の課題

人事管理システムとExcelで仲介していた給与処理

星野リゾートではすべての施設が同じオペレーションで運営されており、総支配人・ディレクター職の立候補制度、スタッフ自ら異動先を希望できる制度など、人材流動を活発に進めている。また、新しい施設の開業も相次ぎ、多くのスタッフの異動が日常的に発生している。そのためグループ総務では、従業員の所属する施設の総支配人・総務担当者と連携し、情報を集約して給与処理を行っているが、施設で管理する手当や精算情報をExcelを使ってやり取りしており、ここに大きな課題があった。

当月の従業員のリストを施設ごとにExcelのフォーマットで出力し、各施設に配布。各施設の総務担当者は施設で管理する金額を該当の項目に入力する。末日までに発生した情報を翌日に回収し、ここにグループ全体で管理している住宅手当や確定拠出年金の拠出金などの情報を追記。さらに、このデータを人事システムに投入し、法人ごとのデータに作り変えて出力、給与ソフトに入れる。

多くのスタッフの手を介してExcelデータを作るため、その過程でフォーマットが崩れたりExcelファイルが壊れたりもする。また、各施設ではそれぞれの情報を別のExcelなどで管理しているので入力が二重作業となっていた。

費用発生の翌日までにすべての情報を提出しなければならない施設の担当者にとっても、さらにそれを加工して給与ソフトに入れるまでを担うグループ総務にとっても、非常にタイトなスケジュールであることも負担が大きい要因であった。

月の半ばでも多くのスタッフが異動するため、異動前後の施設の担当者間で給与情報を共有し合いながら集約させる。新しい施設の開業も相次ぎ、従業員数も増加する中、この煩雑な業務フローをkintoneに集約し、関係する担当者全員が最終データを同時に作り上げるというアプローチで解決を試みる。

■ kintoneによるシステム構築

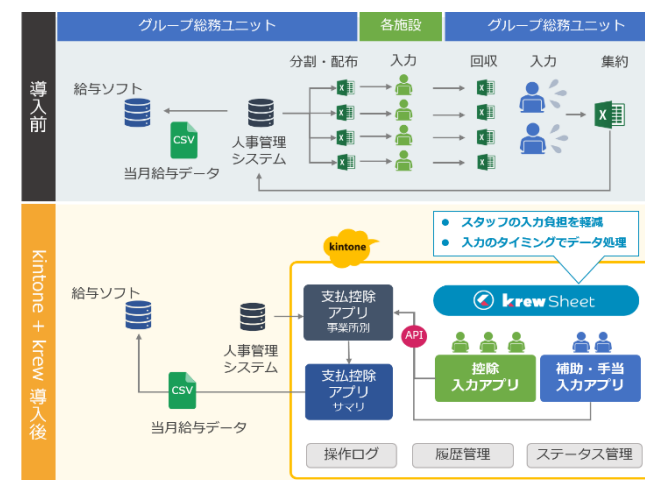
総務部門のスタッフがシステム構築を主導

星野リゾートでは2013年にkintoneを導入済み。現場の業務改善アプリや基幹システムと連携するサブシステムの開発にkintoneを活用している。施設の魅力作りやサービスの改善を現場自ら行うことを推進している同社では、ITシステムも現場の業務をよく知るスタッフが自ら作る方がよいと考えている。kintoneはそのための最良のツールだという。

今回の給与処理システムについてもグループ総務ユニットが主導し従来のExcelファイルでの配布、手作業による

集計、加工を廃止、各自が管理する情報だけを正しくインプットさせることに集中した。具体的には、これまでの入力用Excelをそのままkintoneに置き換えたアプリを作成。人事システムからスタッフがその月に所属した施設のレコードを自動生成する。各施設の担当者は自施設で発生した情報のみを入力。グループ総務が管理する住宅手当、確定拠出年金拠出金の管理もそれぞれkintone化し、同アプリにボタンひとつでレコードを追加できるようにした。給与ソフトに取り込むデータはスタッフごとにレコードをサマリして出力するというもの。同社では「支給・控除アプリ」と呼んでいる。

要件のまとめと入力アプリの作成は総務ユニットのスタッフが担当し、アプリ連携やカスタマイズはkintone開発の実績が高い株式会社ソニックガーデンに依頼。情報システム部門は既存システムとの連携やデータの信頼性担保のアドバイスのみに介在した。



給与処理の業務フローをkintoneでシステム化した概念図

krewSheetを入力インタフェース部品として使う

各施設の総務担当者がExcelに入力する業務をkintoneアプリに置き換えるにあたり入力ユーザーインタフェースとしてkrewSheetが採用された。以前別の業務をkintoneに置き換えた際、Excelとの操作性の違いによりkintoneの利用促進が進まなかったという経験を踏まえ、Excelと同じ要領でkintoneに入力できるkrewSheetで現場に入力負担がかからないようにしたとのこと。

krewSheetのWeb API

「支給・控除アプリ」は複数のアプリを連携して給与データを成型する。施設の総務担当者や総務ユニットでkrewSheetにデータが入力されたタイミングでkintone

の別アプリにもデータが書き込まれるのだが、この処理はkrewSheetが提供する専用Web APIで実現している。

APIはkrewSheet上でユーザーが複数行のデータを編集して保存ボタンをクリックしたときに、編集した行の情報だけがイベントハンドラーに乗る。3行編集されたのなら3行分だけ処理できるよう設計されているのでkintoneをカスタマイズする際にも使いやすいと開発を担当したソニックガーデンではこれを高く評価。入力のユーザーインタフェースはkrewSheetに任せバックエンドの処理に専念できるとのこと。

■ kintone + krewSheetの導入効果

「支給・控除アプリ」は支払い・控除データの締め処理や履歴管理、ステータス管理なども組み込まれたエンタープライズレベルのシステムだ。Excel時代は毎月2名で8時間かかっていた集計作業が今ではアプリ上のボタンを数回クリックするだけで完了。krewSheetにより現場の入力負担が増えることもないという。

今後は各施設で管理しているその他の業務もkintone + krewSheetでアプリ化し支給・控除アプリと連携させることで、給与処理のために毎月発生する現場の入力作業自体を廃止したいとのこと。kintoneを使うのが世界で一番うまい企業になるよう、今後もさまざまな業務にkintoneとkrewSheetの活用を深めていく構えだ。

Excel管理からkintoneに移行したときに現場から戸惑いの声が上がったことがあり、Excelに慣れているスタッフの抵抗感をなくすことの重要性に気が付きました。krewSheetは設定画面も細かい部分までExcelと同じで、関数も使えました。現場のスタッフは関数を使った集計にも慣れていたのでExcelに慣れ親しんでいるバックオフィス業務のkintone化の抵抗感を下げるにはうまくフィットすると思いました。

鎗田 梨恵 様
グループ総務ユニット

企業プロフィール

星野リゾート

長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2148
<https://www.hoshinoresorts.com/>

導入支援

株式会社ソニックガーデン

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-5-13
 グリーンテラス自由が丘201
<https://www.sonicgarden.jp/>

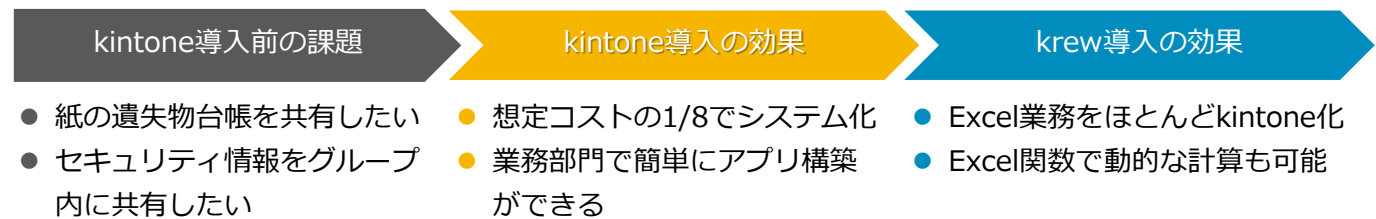


業種	運輸業
利用用途	予算管理・従業員管理
導入製品	krewSheet

経済産業省が選ぶ「健康経営優良法人(ホワイト500)」に3年連続で認定された京王グループの中核、京王電鉄株式会社では、2017年にkintoneを導入。グループを横断してインシデントを管理するセキュリティポータルなどさまざまな業務にkintoneを活用している。さらにkrewSheetの導入によりExcelでしか管理できないとあきらめていた業務のkintone化にも成功した。

低予算 × スピードで結果を出す。それから拡大。 kintoneとkrewSheetで業務改善がグループ内に急速進行中

※記事の内容は取材当時（2019年6月）のものです



■ kintone導入前の課題

年間4万件の遺失物を紙台帳で管理

京王電鉄バス株式会社では基幹業務以外のシステム化に予算が割けず、営業所や工場の現場ではマクロを活用したExcelなどで管理する業務が数多く存在していた。

Excelによるデータ管理は現場の苦勞も多くシステム部門ではこうした業務を改善できないかと考えていた。そのころ、誰でも簡単に素早くアプリを作成できるkintoneの存在を知る。たまたま予算がついていた遺失物管理業務にkintoneを利用することにした。

当時、京王電鉄バスの遺失物は紙台帳で管理されていた。遺失物は年間4万件以上。問合せの回答にも時間がかかることが課題だった。警察への遺失物の受け渡し情報がデータ化されるタイミングでもあったためシステム化の予算が付いたのだ。これをkintoneで構築すれば、その他の社内業務改善にもkintoneが利用できるかもしれないと考えすぐに実行。2015年4月にリリースした。開発期間は業務プロセスの見直しから始めて2か月。予算の1/8程度しかかからなかったという。その後、添乗評価アプリや指導履歴アプリなど短期間で作成し次々と業務改善を推進していった。現在でも多くのアプリが京王電鉄バス内で活用されている。

■ kintone導入のポイントと効果

グループ企業全体でセキュリティ情報を共有したい

京王グループ全体のセキュリティ情報の共有にもkintoneが活躍した。2017年当時、セキュリティに問題が発生した場合その対策や検知の仕組みを共有するツールの全社導入が滞っていた。当時利用していたツールのコストがあまりにも高額だったためだ。そこで、インシデント告知から対処方法をグループ全体に共有するコミュニケーションインフラとしてkintoneを採用。グループのシステム会社である京王ITソリューションズ内で業務改善意識の高いメンバーを集め勉強会を開催し、今ではkintone開発部隊ができてサービスをグループ内に展開できるようになった。



グループ横断 での活用京王電鉄のセキュリティポータル

組織の整備と教育により、グループ内にkintoneを使う下地を次々と拡充したことで、Excelで運用していた業務の改善が進んだ。Excelでの業務管理時代には、新人がExcelファイルの計算式を勝手に変えてしまうというトラブルも起きたそうだが、そうしたことも減りつつある。

■ krewSheet導入の前の課題

1画面に表示できる情報量が少ない

kintoneがグループ内に浸透する一方で次の課題も浮かび上がった。標準UIの使い勝手についてだ。実業務では画面に表示しなければならない項目数が数多くあるため、現場担当者にkintoneの画面を見せると1画面で表示できる情報量が少なすぎて生産性が下がるとの意見。多くの企業でそうであるように、現場ではkintoneをExcelのように使いたいという強いニーズがあったようだ。そのためkintoneの一覧でExcelライクのUIを利用できるという「krewSheet」を知ったときは即決だったという。

■ krewSheet導入の効果

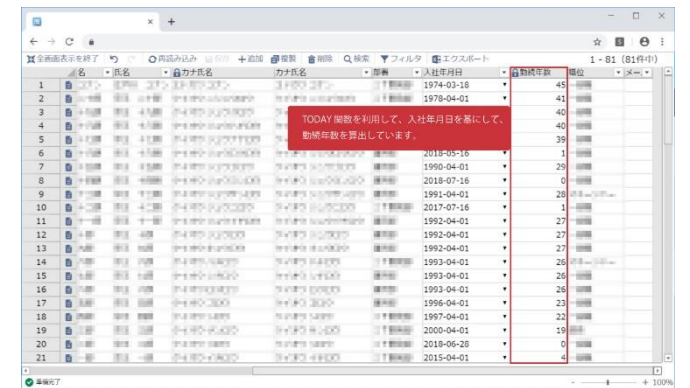
Excel関数をkintoneで使うことで動的な計算も

krewSheetを導入したことでExcelで管理していた情報の移行が進み、現在は予算管理や従業員管理まで行っている。krewSheetは一覧表示できる情報量が多く、大量のレコードがあるアプリでも便利に使えるそう。

例えば、サブテーブルの集計行を使った簡易集計や、TODAY関数で勤続年数や年齢を計算するといった活用方法だ。krewSheetの数式は画面の表示時に再計算できるため、常に最新の勤続年数を画面上で確認できる。年齢や勤続年数など動的に計算が必要な場合に特に有効だ。

さらに、kintoneアプリのアクセス権を設定することで、新人が勝手に数式を変更するトラブルも起きなくなった。Excelで管理するしかないと考えていた表をkrewSheetを入れることでアプリ化できるようになった効果は大きく、kintoneのUIになじめなかった人でもkrewSheetなら使えそうだという反応を見せる。

京王電鉄では、今後は、さらにグループ会社の各業務をデジタル化することに積極的に取り組んでいく構えだ。



TODAY関数を活用して従業員の勤続年数を自動計算

kintone + krew の魅力

kintoneはとても簡単なので、ちょっとレクチャーすればすぐにアプリを構築できます。私がいなくなっても負荷をできるだけかけずに育てていけるものがあつたほうがいいだろうと思ったのです。kintoneは活用すればするほどコスト的にもメリットがますます、当社にはマッチしていたと思います。

(虻川氏)

krewSheetは一覧表示できる情報量が多く、大量のレコードがあるアプリでも便利に使えます。例えば、サブテーブルに集計行を入れて、画面上で簡易集計も見られます。地味ですが、「krewSheet」がなければExcelに戻っていましたね。

(高田氏)

虻川 勝彦 様 (右)
経営統括本部 IT管理部
部長

高田 英明 様 (左)
同本部 IT管理部グループ
IT担当 課長補佐



企業プロフィール

京王電鉄株式会社

〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1

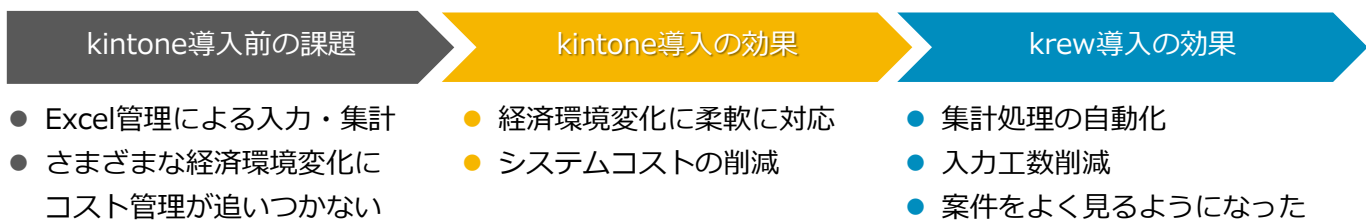
<https://www.keio.co.jp/>

業種	製造業
利用用途	コスト管理・品質管理
導入製品	krewSheet／krewData ／krewDashboard

日産自動車株式会社では研究開発から部品調達、車両組み立て、物流まで含めたコスト競争力を発揮するための活動を展開。その重要な役割を担う購買部門では予実管理を含めた価格ベンチマークをkintoneで実現。kintoneを活用するバイヤーの入力支援を中心に「krewSheet」利用しながら、収集した情報の集計作業には「krewData」を、可視化には「krewDashboard」を導入し効率化を図っている。

Excelに慣れた海外バイヤーにも受け入れやすい環境を整備 業務の自動化や正確な意思決定に貢献するkrewシリーズ

※記事の内容は取材当時（2019年10月）のものです



■ kintone導入の背景

環境変化影響を受けやすい調達業務にkintoneを活用

日産自動車の調達関連業務をサポートしている購買管理部では、世界各国の部品調達バイヤーに求められている調達価格の適正把握に向けて、基幹システム内にそれぞれ管理されている部品価格や車種ごとの部品情報をkintoneで集約、必要な通貨で一覧比較できる仕組みを構築している。

部品の調達価格はさまざまな経済環境変化が大きく影響するため、変化に柔軟な対応が欠かせない。こうしたスピードと変化に耐えられるソリューションとして購買管理部ではkintoneを導入。積極的に活用している。

■ krew導入前の課題

kintoneに慣れていないバイヤーへの対応

Excelを中心に行ってきた業務の多くをkintoneに移行したものの、入力したExcelをkintoneにアップロードするという運用が、海外のバイヤーにとってはハードルが高く、また、収集した情報の集計作業に時間がかかっていたため、外部パートナーに委託して複数アプリの情報を結合、集計するようなプラグインを開発してもらっていたがそれにも限界があった。そんな折、展示会で見かけたのがkrewSheetだった。

Excel同様のインターフェースが提供できれば初見でもkintoneになじみやすいと考え、部品に使用するマテリアル（素材）の情報を管理するアプリにkrewSheetを導入してみると、それまでのExcelをアップロードする方法ではExcelのフォーマットが改変されたりアップロードし忘れたりするなど課題があった運用環境を改善できたという。

集計作業と可視化の課題

krewSheetで入力課題はクリアしたが集計業務ではカスタマイズが続いていた。そのころkintoneアプリ間のデータ集計が可能な「krewData」とグラフでデータを可視化できる「krewDashboard」のリリース情報をキャッチ。工場ごとに必要な部品の調達先を物流コストの視点から価格ベンチマークする仕組みに適用したところ、集計の自動化に成功。誰が価格ベンチマークを実施しても早く正確な数字を算出できる効果も見込めることが分かったため、導入を決断。こうしてExcelで行ってきた調達業務に関連した業務基盤として、kintone + krewをフル活用することになる。

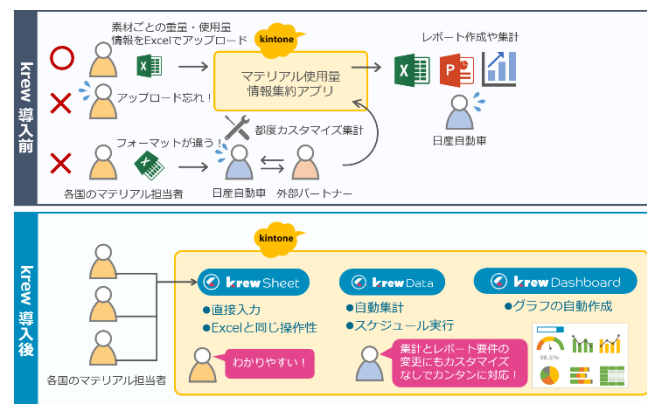
■ krew導入後の効果

車種ごとのマテリアル情報管理に活用

今では、kintoneによって作成された500を超える業務アプリの3割ほどにkrewSheetが適用されている。

krewDataで作成されたフローは30ほど、必要に応じてkrewDashboardのピボットテーブルでグラフ化しているという状況。

マテリアルの使用量を車種ごとに把握するための情報集約アプリでは、各国にいる50名ほどのマテリアル担当者が毎月Excelで情報提供していたものを全てkrewSheetで入力する方法に切り替えた。また、全拠点のマテリアル情報をkrewDataで自動マージしたうえでkrewDashboardで可視化している。kintoneとkrewシリーズの組み合わせにより自動化に成功し効果を得ているという。



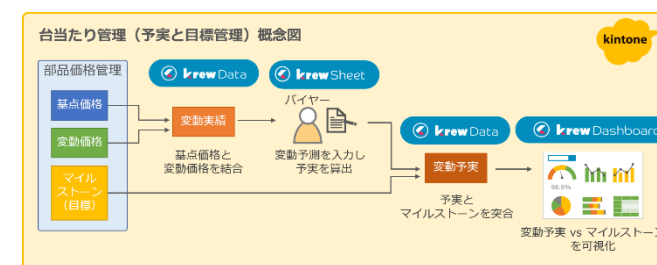
マテリアル情報管理でのkrewの導入効果

ミスが発生しにくい環境整備に貢献

取引先が部品を工場まで運ぶルート最適化をいろいろな角度から確認するため物流業者からいろいろなパターンの輸送費情報をExcel収集しているが、これまではどのパターンが最適なかを手作業で集計していた。

これをkrewDataでフロー化しボタン1つで自動化できるよう整備。誰が行っても同じ結果が出せるためミスが発生しない環境を整備できた。計算の過程を可視化できるkrewDataにより価格ベンチマーク算出のノウハウを新人にも共有できるようになったという。

さらに「台当たり管理」では部品ごとに基点となる数字と変動情報、目標達成計画を入力し、それぞれの価格変動の要因を詳細に管理している。krewDataのフローにより、これらのデータを自動的に突合、集計しkrewDashboardの折れ線グラフで可視化している。全てを手作業で行っていた頃に比べ、かなりの効率化ができたとのこと。



台当たり管理の概念図

他にも部品の不良品などの情報をもとにサプライヤーの品質評価を行う仕組みでは、関連会社ごとにkintoneに入力された情報をkrewDashboardでグラフ化するなど、幅広い業務でkintone + krewが業務改善に貢献している。今後は、日産自動車の関係会社にも同様の仕組みを活用してもらうなど、さらに大きな枠組みで効果を発揮していく構えだ。

krew 導入で変わったこと

各調達先の価格を色々な視点でベンチマークするために複雑なExcelの計算式を駆使していましたが、新入社員などExcelに不慣れな人はベンチマーク表を作成するだけでも工数がかかります。

また、計算式を誤ると、誤った判断を誘発してしまいますが、krewDataにより、誰が実施しても早く正確な数字を出すことができました。

塩田 千賀子 様
共同購買本部購買管理部



企業プロフィール

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島1-1-1
<https://www.nissan.co.jp/>

導入支援

株式会社日立ケーイーシステムズ

〒275-0001 千葉県習志野市東習志野7-1-1
<https://www.hke.jp/solution/cybozu/>

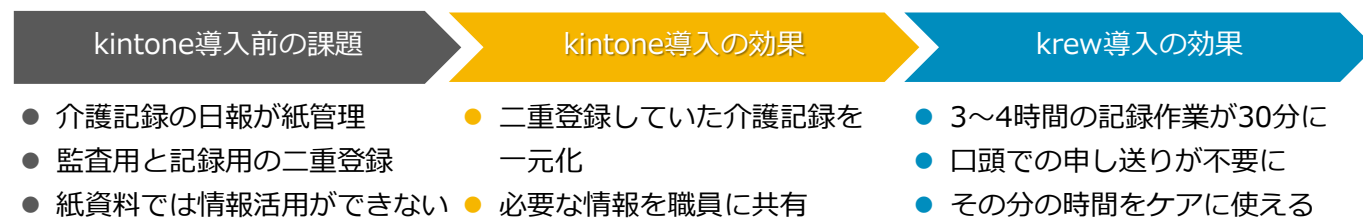


業種	医療・福祉
利用用途	日報・報告書
導入製品	krewSheet

株式会社ケアサポートは沖縄県でデイサービスと有料老人ホームの2施設一体型のサービスを提供している。母体となる照正組は創立70年の老舗の建設企業で地元の与那原町ではとても信頼が厚い。ケアサポートが運営する「ほがらか苑与原」と「ほがらか苑おおみたけ」では紙と口頭で管理していた介護記録をkintone + krewSheetでシステム化することに成功した。

紙での記録と口頭での申し送りをクラウド化。パソコン経験が浅い介護現場のユーザー達がkintone + krewで大きな業務改善を達成

※記事の内容は取材当時（2019年6月）のものです



■ kintone導入前の課題

紙ベースで二重に記録していた紙の介護日報

介護保険制度を利用するデイサービスでは監査のために記録を残す義務があるがケアサポートではこの記録を紙で作成していた。利用者1名につき1日1枚の記録を作成するので作業時間を要するうえ紙の保管コストもかかる。カルテはあっという間に分厚くなり紙の消費も多かった。

また、紙管理では情報の共有にも課題が発生していた。利用者の状況を職員が共有するために監査用とは別の用紙に転記するので同じような報告を二重に作成する手間がかかっていたのだ。デイサービスと老人ホームは24時間365日稼働しているので、記録は増え続ける一方で検索もしづらくスタッフの記憶だけが頼りになっていた。

しかし高齢社会で介護業界の人員が不足する中、記録のために人を確保するのも難しく同社では記録作業を簡素化するべく試行錯誤を繰り返してきた。電子カルテの導入も検討したが予算が合わずに見送るなど課題を認識しながらも紙管理が続いていた。

そんな中、ケアサポートの専務も兼ねるグループ企業の照正組の照屋圭太社長が矢内氏と出会いkintoneとkrewSheetを知る。

矢内氏は福島県で矢内石油というガソリンスタンドを営んでいる。もともと札幌で会社員をしていたが2009年に福島に戻り家業のガソリンスタンドを継いだ。そのころkintoneと出会い大きな業務改善を果たす。その年のkintone AWARD グランプリを獲得。この話に興味を持った照屋氏が矢内氏にkintoneによる業務改善支援を依頼したのだ。

■ kintoneとkrewSheetの導入

職員にきちんと使ってもらうシステムの構築

矢内氏はケアサポートの業務の流れを把握するために現場では実際にどのような苦労があるのかkintone導入担当者と徹底的なディスカッションを行った。すると朝チェックするバイタル、昼の食事量、その日の出来事などをそれぞれの用紙に記録し最後に1枚の用紙に書き写していることが分かった。そこでこれをkintoneアプリ化し改善することにした。

基本的なアプリは矢内氏が作成しスタッフが実務で利用することでkintoneを少しずつ理解していったそうだ。紙ベースの記録業務を順次アプリ化し、実務でテストしながら改善点を洗い出してブラッシュアップしていった。

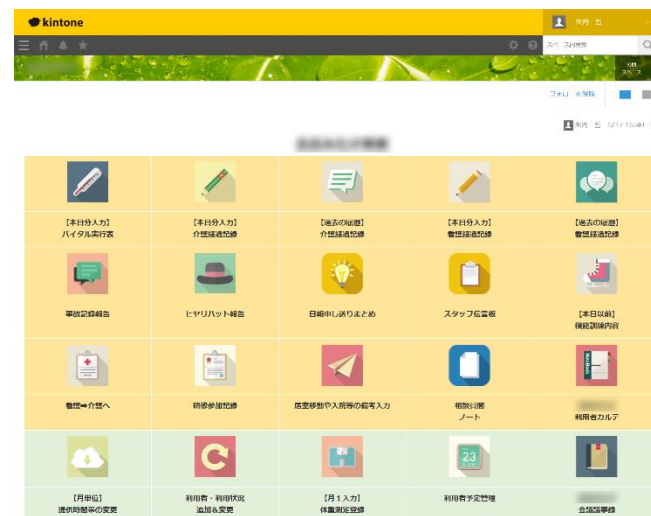
現場のスピード感を乱さない入カインタフェース

介護記録をkintoneに入力する画面には最初からkrewSheetが採用された。現場の時間軸を乱す入力フローは合わないという矢内氏の判断だ。

krewSheetはExcelと同じように一覧上で入力操作ができるので施設利用者ごとの詳細画面に遷移せずにkintoneに記録を残せる。利用者の名前が並んだExcelライクな一覧があり、血圧や食事量などのセルに数字を入力すれば記録が完了するような操作オペレーションにしたという。

また、直観的に操作できるようタッチパネル対応端末を採用したりkintoneの画面を工夫したりした。システム全体もこれまでの業務フローに合わせて、担当者が自然に使えるよう配慮されている。顧客マスター以外はデータを集積するアプリを一つにまとめ、業務にごとに一覧を設けることで、あたかも複数のアプリがあるように見え

施設利用者の健康状態を記録するkrewSheetの一覧



アイコンを使って業務を分かりやすく表現

ている。その方が機能を増設しやすいからだという。一覧にはすべてkrewSheetが適用され、kintoneの入力画面としてシームレスに連携。スタッフは馴染みのあるExcelライクなインタフェースでkintoneを自然に活用しているとのこと。

■ krewSheetの導入効果

記録時間が6分の1。申し送りも不要になった

転記を繰り返していた記録業務がkintoneとkrewSheetを導入したことで効率が大幅に改善。毎日3〜4時間かかっていた業務が30分程度に短縮された。さらに入力の手間が減ったことによるストレスやミスの軽減も大きなメリットだった。

全員が記録できるようになったことで記録員として0.5人分の増員に相当するとのこと。職員が働きやすくなった分利用者へのケアも充実したという。利用者の食事摂取量などもアプリに記録されるので、手間を増やさず、スタッフ間で情報共有できるようになった。

今後はkintoneに蓄積した情報を次に生かすためにkrewDataの導入も視野に入れているとのことだ。



kintone + krew導入の実感

以前は日勤で起きたことを夜勤者に伝えるために4時から4時半までを使っていましたが、今は自分のペースでアプリを見て申し送りを把握できるようになりました。（長嶺氏）

スタッフの業務負担が減ったことで利用者様とのレクリエーションをふやしたり、お話ししたりおやつにたこ焼きを作るなど、サービスが充実できていると感じています。（崎枝氏）



長嶺 浩平 様 (左)
施設長

崎枝 涼 様 (右)
事務長

企業プロフィール

株式会社 ケアサポート

〒901-1303 沖縄県与那原町字与那原1122

導入支援

有限会社矢内石油

〒961-0102 福島県西白河郡中島村滑津字平名塚1

<https://yanai-sekiyu.com/>



業種	情報通信業
利用用途	販売管理・購買管理・業務基盤全般
導入製品	krewSheet

「21世紀を代表する会社を創る」ことをビジョンに据え、インターネット広告事業やゲーム事業、投資育成事業、「AbemaTV」などを展開している株式会社サイバーエージェント。事業の基盤となる販売管理や購買管理などの業務システムの提供から情報の管理活用まで担う経営システム室ではkintoneを業務基盤とし使い勝手を高めるためにグレーシティの「krewSheet」を採用した。

Excelでもできなかったkintoneが持つサブテーブルの良さを引き出す、アプリ作成の考え方が劇的に変わったkrewSheet

※記事の内容は取材当時（2019年7月）のものです

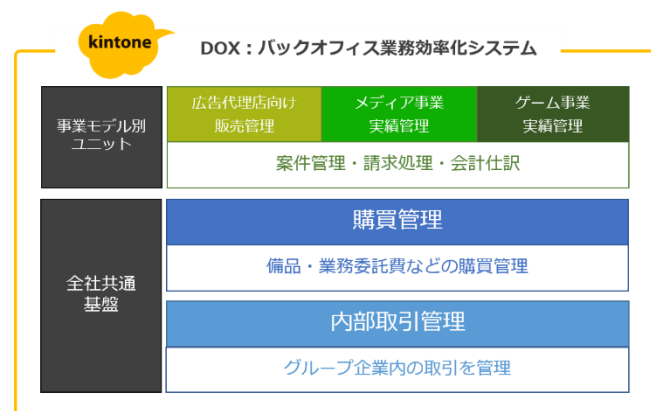


- 新規事業の管理業務がExcel中心
- 全社共通のバックエンド基盤DOXを構築
- 決算ワンボタン構想の入り口として貢献
- 統制と構築スピードを両立するバックエンドシステムが必要
- 新規事業の業務管理に迅速対応
- カスタマイズの代替え

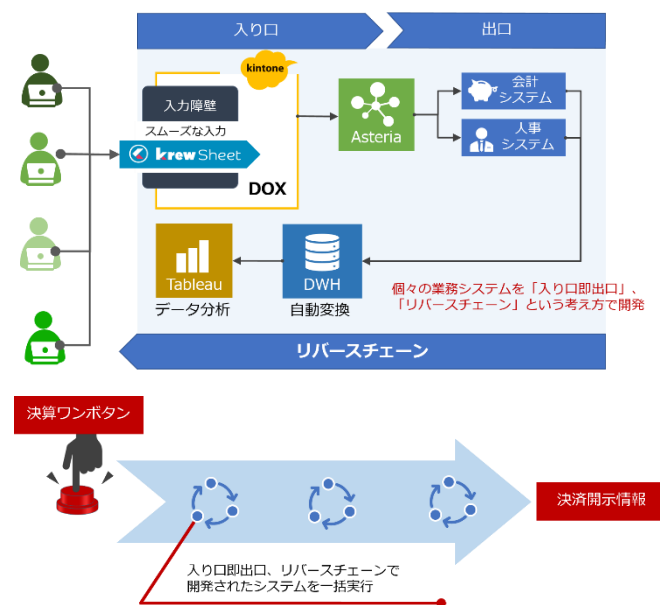
■ krewSheet導入の背景

使い勝手を改善し決算ワンボタン構想を進める

サイバーエージェントは新たな領域への積極的な投資を行いながら、新事業を次々と立ち上げている。そのため、経営システム室では業務を支えるバックエンドの仕組みを現場に迅速に展開するべくExcel中心だった業務管理を辞めガバナンスの効いた環境整備に着手。案件発生から請求処理、会計への仕訳データを作成する販売管理のほか備品や業務委託費などすべての請求書を一括管理する購買管理の仕組みをkintoneで構築し、DOXと呼ぶ業務基盤として展開した。DOXは新規事業が立ち上がるタイミングで現場に提供できるという。



さらに、経営システム室は情報を入力してボタンを押すと最終的な決算開示情報まで一気に処理が完了する「決算ワンボタン構想」を強力に推進している。決算ワンボタン構想を実現するには、kintone（DOX）の活用が大原則だが、長年Excelを利用してきた現場ではコピー＆ペーストでデータ入力ができない、Excel関数を使った集計ができないなど使い勝手の面で課題がありkintoneに移行できない管理表などがあった。



■ krewSheet導入前の課題

krewSheetとの出会いがkintoneの可能性を広げる

決算ワンボタン構想のため現場に納得してもらえる使いやすい仕組みが必要だった。当初はブラウザ上でExcelのように使える別の仕組みを検討したもののDOXで業務の標準化を実現していることもあり、今まで積み上げたものを崩さず対応できるものがないかと思案する中、出会ったのが、kintoneのレコード一覧をまるでExcelのように表示、編集できるプラグイン「krewSheet」だった。

krewSheetであれば、使い勝手に関する課題を解決できるだけでなく、経営システム室もExcelをイメージしてアプリの設計ができると直感した。1か月のトライアルを経て、現場に適用できることを確認。週に一度行う役員とのミーティング時にkrewSheetを説明したところ即決で導入する運びとなった。その結果、既存のDOXで実装されているアプリに対するkintoneプラグインとしてkrewSheetが導入されることになった。

■ krewSheet導入の効果

krewSheetで視認性の高い一覧を実現

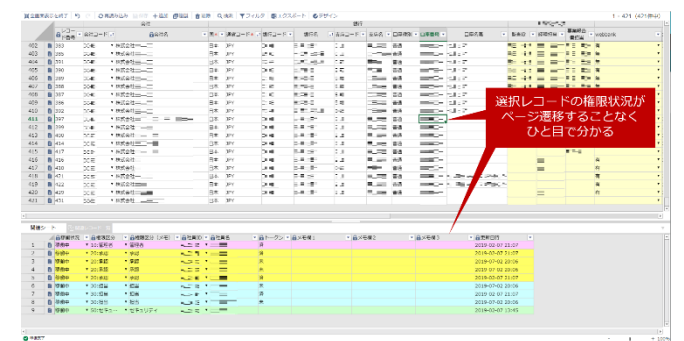
現在はDOXが提供する販売管理や購買管理はもちろん、AppleやGoogleと連携して販売管理を行う「ゲームDOX」や人事部門がDOXのように現場から情報を吸い上げる仕組みをkintoneで構築しており、社内全体では2800ほどのkintoneアプリがある。このうち300を超えるアプリにkrewSheetが適用されている。新たに作成するほぼすべてのアプリにはkrewSheetを適用している状況だ。

その一例を挙げると、事業ごとに開設する銀行口座を管理する「銀行印押印稟議」アプリでは、口座ごとに管理者、申請者、承認者の情報を、krewSheetをベースにサブテーブルで管理している。口座情報の行をクリックするとその下にサブテーブルが表示され、誰がいつどの申請者に対して銀行印の申請を行ったのか画面を切り替えずに表示できる。視認性の高いkrewSheetがなければ、この仕組みは実現できなかったという。

カスタマイズからkrewSheetでの処理に意識が変わる

krewSheetというプラグインを導入したことで、アプリ開発の考え方も大きく変わった。これまではJavaScriptを駆使して実装していた処理をkrewSheetの関数で行うようになったという。kintoneを標準的なデータベースとし処理はkrewSheetで制御、外部との連携が必要な場合はASTERIA Warpを呼び出すというやり方だそうだ。

今後については、既存アプリも含めて現場の要望があればkrewSheetを適用していきながら、ガバナンスを考慮しつつ、アプリ作成に関する権限を現場にも拡張していくなど、活用用途をさらに広げていきたい考えだ。



krewSheetを使った銀行印押印稟議アプリの画面



krewSheetの最初の印象

“Excelまんまだな”というのが、krewSheetを触ったときの正直な感想です。

krewSheetであれば、現場が抱えていた使い勝手に関する課題を解決できるだけでなく、アプリを開発する我々もExcelをイメージして設計できる。スプレッドシート関連のソリューションに長けているグレーシティが提供していることもあり、これしかないと感じたのです

中澤 洋雄 様
経営本部経営システム室
マネージャー



企業プロフィール

株式会社サイバーエージェント
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町40-1
Abema Towers
<https://www.cyberagent.co.jp>



業種	生活関連サービス業・娯楽業
利用用途	商品管理
導入製品	krewSheet／krewData

株式会社コロプラはスマートフォンアプリを中心とした国内・海外向けモバイルゲームサービスを提供しているほか、ゲームに登場するキャラクターなどのIPコンテンツのグッズ販売も行っている。商品の発注から出荷に至る商品管理業務にkintoneを活用。さらに「krewSheet」と「krewData」で商品コードの発番やデータの集約を自動化している。

商品コード発番など関数を使った業務をkintone上で可能に。 商品管理に欠かせないkrewシリーズ

※記事の内容は取材当時（2019年10月）のものです

kintone導入前の課題	kintone導入の効果	krew導入の効果
● スプレッドシートで商品企画から出荷までを管理 ● 転記回数が16回に及ぶ	● 販売形態の変更に迅速に対応 ● 業務プロセスを一貫して管理	● 商品コードの自動発番 ● 複数アプリのデータを自動集約

■ kintone導入前の課題

情報の転記ミスや履歴管理など商品管理業務に課題

位置情報ゲームの提供からスタートしたコロプラは「白猫プロジェクト」など主力IP（Intellectual Property：キャラクターなどの知的財産のこと）を用いたコンテンツや他社IPを活用したアプリケーション開発、さらにキーホルダーや缶バッジ、文房具、ポスター、アパレル商品、フィギュアなどIPをフル活用したグッズ販売も行っている。

こうしたグッズの企画から発注、検品、出荷まで含めた商品管理業務はこれまでGoogle スプレッドシートを利用して行われていた。また、チャットツールなどで寄せられた部内から外注先への発注依頼をExcelで作成された発注書に転記してメールで送付するなど、複数のツールを駆使し業務を管理してきた。しかしそれぞれの仕組みが連携していないため何度も情報を転記しなければならず、どこかで変更が発生すると全てのプロセスで再入力ということも。さらに、本来手順を踏むべき工程が抜け落ちるなど履歴管理も十分でないなど商品管理業務に多くの課題があった。

■ kintone + krewの導入の背景

頻繁に変わる販売形態に対応できる柔軟性を評価

そこで新たな業務管理基盤の検討を開始。その時耳にしたのがサイボウズのkintoneだった。コロプラのグッズの場合、売り方に応じて単品商品をセット商品に変更するといった販売形態の変更が頻繁に行われるため、変化への柔軟な対応が必須だった。

kintoneなら現場での項目追加が容易で商品の発注から納品までの工程をしっかりと管理できると一度入力した情報の活用により転記作業をなくし、業務効率化を図れると考えた。

関数が利用できるkrewSheetがkintone活用必須

しかし、kintoneの標準機能だけでは不十分な側面もあった。商品管理に欠かせない商品コード（JANコード）の発番である。

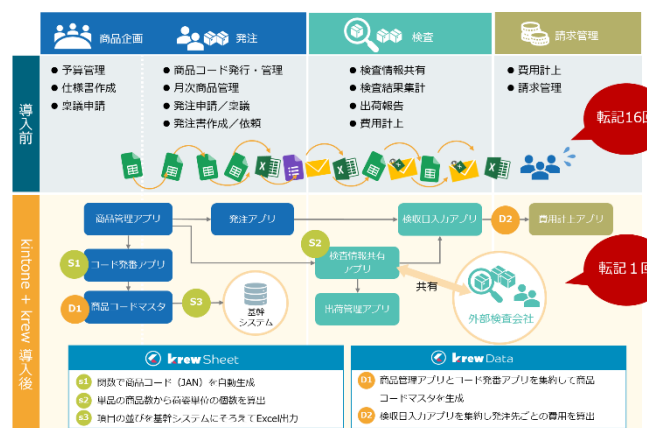
これまではExcel関数を利用し商品名や販売形態から自動生成していたが、kintoneの標準機能では従来と同じ方法をとることができなかった。そこでシステム開発企業から紹介を受けたのが、kintone上でExcel関数とUIを再現できるkrewSheetだった。

また、販売経路ごとに登録される商品を集めてマスター化したり、発注した商品を検収したうえで費用計上するために必要な情報を各アプリから集計したりといった業務を円滑に行うべく、krewSheet導入後にリリースされたkrewDataも併せて採用。現在は、グッズの発注から出荷に至る業務をkintoneで管理している。

■ krewシリーズの導入効果

kintoneでもExcelと同じ運用で商品管理コード生成

商品コードの発番では事業者コードや商品アイテムコードなどをもとに商品ごとのJANコードを作り出している。同一商品であっても単品とセット販売では異なるJANコードが必要なため、krewSheetの関数で計算を行い発番している。また、コロプラでは制作された商品の抜き取り検査を外部に委託しているが、その検査情報を共有するアプリでもkrewSheetの関数を利用して荷姿単位を変換し、入庫単位をコントロールしながら入庫登録できるような運用を行っている。



kintone + krewの導入により効率化された商品管理業務

krewDataで商品制作にかかった費用を集計

商品管理の業務プロセスでは発注稟議や納品された商品の検収予定日、商品制作を委託しているメーカー一覧などがそれぞれ個別のkintoneアプリで管理されている。検収日がリスト化されたアプリ上で検収時にチェックを行うと、krewDataを使ってそれらの複数アプリから情報を収集、その月にどの企業に対していくら支払いが必要なのかといった費用計上時に求められる各種情報が自動的に

に生成され、費用計上アプリ内のレコードが作成されるようになっている。

さらに、商品スケジュールアプリでは、商品ごとの納品日や抜き取り検査の日付が管理され、発売日、ECの場合は受注可能期間、出荷日などもそれぞれ管理されている。それらをkrewDataで全て集計し、個別のガントチャートプラグインにてカレンダー表示を行っている。

kintone + krewの導入により商品管理業務で利用していたツールの数を4分の1に減らすことができ、16回もの転記を繰り返していた作業はほぼなくなった。今後は在庫管理業務にもkintoneを活用していく考えだ。

krewシリーズの効果と期待

krewSheetは従来のスプレッドシートの使い勝手はそのままに、情報が点在せずにkintoneで完結できています。

全ての情報がkintoneおよびkrewSheet上に集まっいて情報も探しやすい。知っている関数を入れればそれが反映されるため、本当にExcelのように利用できます。

また、受注管理では、krewDataを使えば、月別の売上や販売数量、在庫数、商品消化率などをすぐに集計でき、それを商品マスターに反映できれば使い勝手はさらに高まると思います。



IP事業部
商品開発グループ

江頭 花恵 様
加藤 真樹子 様
田崎 絵里香 様
中尾 康裕 様

※2020年11月現在、krewの運用は事業部の子会社への事業承継に伴い、株式会社MAGES様に移管しています。

企業プロフィール

株式会社コロプラ

〒150-6011 東京都渋谷区恵比寿4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー11階

<https://colopl.co.jp/>

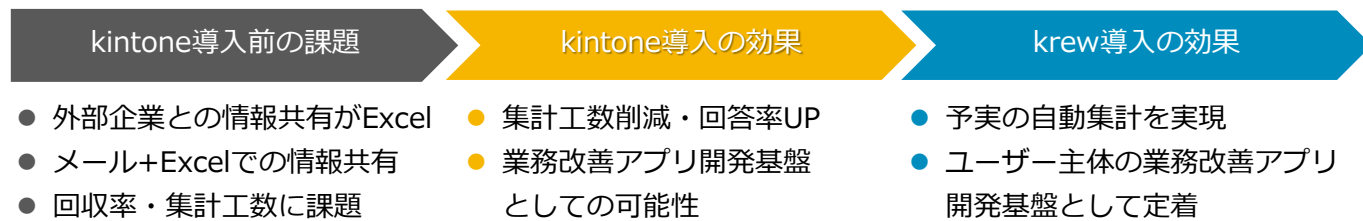


業種	製造業
利用用途	予実管理・タスク管理・外部企業との情報管理
導入製品	krewSheet／krewData／krewDashboard

自動車用自動変速機（AT・CVT）の開発、製造、販売のトップシェアを誇るジヤトコ株式会社は、国内10拠点、海外8か国13で1万4,800人におよぶ従業員を有する日産グループ屈指のメーカーである。外部企業との情報共有や予実管理などさまざまな業務にkintone + krewを活用。ユーザー主体の小規模業務改善アプリ開発基盤として社内に定着化を図っている。

Excelの操作性に慣れた現場の声にこたえるkrewSheetがkintoneを「ユーザー主体の業務改善アプリ開発基盤」に押し上げる

※記事の内容は取材当時（2019年10月）のものです



■ kintone導入前の課題

700社からの情報収集をExcel&メールで行っていた

CVTを製造するには多数のサプライヤーから部品を調達する必要がある。ジヤトコでは700社を超えるサプライヤーとの取引があり各社の企業情報を収集する際に調査票をExcelで作成しメールに添付して回答を依頼していた。

サプライヤーは送られたファイルをExcelで開いて書き込み、メールに添付して回答。ジヤトコに戻された記入済みExcelは担当者がVBマクロを駆使しながら集約し、報告するという流れだった。

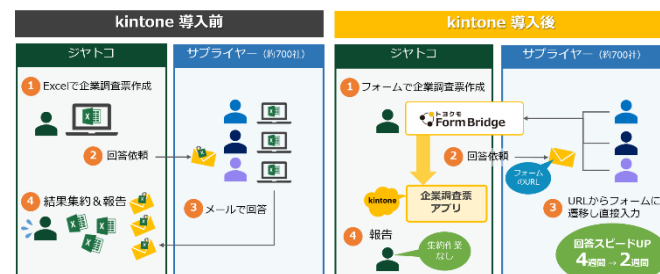
しかし、回答率の低さと集計にかかる工数の多さが課題だったという。スタッフが回答を促すも1か月で50%集まれば良い方だった。働き方改革が世に浸透し始めたころで、ジヤトコとしても業務改善を考えていたため、課題解決のためにkintoneを導入した。

■ kintone導入の効果

回答率90%。集計作業も廃止

kintoneと連携するフォーム作成ツールを使い、サプライヤーがフォームに入力すると結果がリアルタイムにkintoneアプリに反映する仕組みを構築したところ、回答

率は2週間で90%を超え、集計工数も大幅に削減。この成功によりジヤトコでは業務改善アプリ開発基盤としてkintoneの活用を本格的に進めることになった。



■ krew導入の背景

Excelの操作感を求めるユーザーの声が多数上がる

kintoneによる業務改善推進のため各部門に利用を促すが、なかなか広まらなかった。原因を探るとkintoneの標準画面ではデータの入力・更新・成型が行いにくく、現場ではExcelのようなインターフェースが求められていたことが分かった。kintoneはデータ共有やデータの一元化、権限設定といったプラットフォームそのものに良さがあるが、個人の使い勝手はExcelのインターフェースのほうが長けていることを理解した情報システム部は、kintoneプラグインのkrewSheetに着目する。

krewSheetはExcelのインターフェースをkintoneに付加するプラグインだ。試してみるとExcel機能の再現性が非常に高くこれなら現場の要求に応えるとともに、kintoneの通知や情報共有機能、権限設定も活かせるかと採用を決めた。

■ krewの導入効果

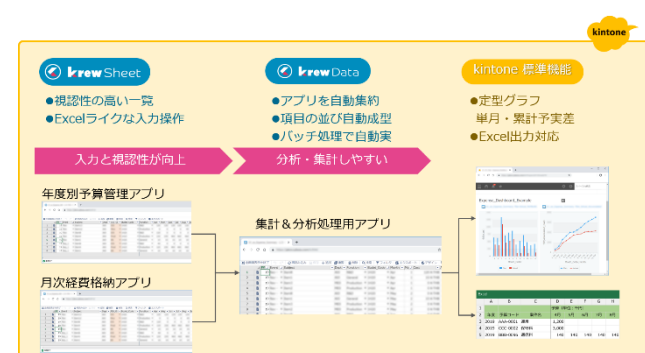
社内活用が広まり作業時間の圧縮やミスの防止を実現

krewSheetを導入することで、入力やデータ集約工数が削減できるようになりkintoneはいろいろな業務に使われるようになった。予算管理アプリでは目的、用途ごとに入力可能範囲や表示範囲を設定することで作業効率を上げた。また、社内の全PCにセキュリティパッチを適用する業務では適用状況の進捗や報告のための集計作業工数を大幅に削減できたそう。

データ成型や集約を自動化したい

kintoneによる業務改善が進む中「krewSheet」だけでは解決が難しい業務が浮上した。予算管理アプリと月次経費格納アプリを集計・分析し予実管理を行うものだが、アプリは月ごとに項目が設けられていたため、案件ごとに集計するにはExcelでの加工作業が必要だった。これをkintoneだけで完結できず課題となっていた。

この課題を解決したのが、当時リリースしたばかりのkrewDataである。krewDataはアプリの自動集計やデータ成型ができるプラグインだ。項目を行に行を項目に変えるなどが自由に行えるため、課題となっていたジヤトコの予実管理も難なく解決することができたという。



krewDataで自動化した予実管理業務

ユーザー主体の業務改善アプリ開発基盤として確立

krewDataを使いこなすためのハードルは低い。集計や成型のコマンドはアイコン化されてドラッグ&ドロップでコマンドをつなぐだけで、集計フローを作成できる。

未使用資産アプリでは紙やねじ、ゴムといった購入品を固定資産として扱い、半期に一度会計処理を行う。データは全部で2万件ほどあるのだが、費目ごとに整理・成型して24カテゴリにサマライズする必要がある。この分類を行うため複数のアプリからデータを引っ張ってくるのだが、krewDataを初めて使うスタッフがこのシステムを1週間で作ったという。

krewSheetとkrewDataにより、ジヤトコでは400個ほどのkintoneアプリが作成され、30が実稼働している。今後もkintoneをユーザー主体の業務改善アプリ開発基盤として活用していくとのこと。



krewのサポートに安心感

JavaScriptでkintoneの機能をカスタマイズすると、社内で保守を続けなければならないので、汎用的に使えるプラグインを使うようにしています。

kintoneがアップデートされた場合でもプラグインの開発元企業が対応してくれるからです。プラグインの採用に関してはバンダーさんに相談していますが、krewを使いたいと言ったら、グレープシティならサポートがしっかりしているのでオススメですと推奨されました。

岩男 智明 様
情報システム部 主任



企業プロフィール

ジヤトコ株式会社

〒417-0001 静岡県富士市今泉700-1

<https://www.jatco.co.jp/>



社会保険労務士法人
めぐみ事務所
Labor and Social Security Attorney Office

業種	士業・コンサル業
利用用途	顧客管理・案件管理
導入製品	krewSheet

社会保険労務士法人めぐみ事務所は厚生労働省が国家戦略特区内に開設した仙台市雇用労働相談センターで地元の弁護士事務所とともに労務管理セミナーや無料相談を実施するなど、地元企業の労務管理アドバイザーとして欠かせない存在。紙による業務管理が主流の士業にありながら、いち早く「kintone + krewSheet」を基盤とした情報共有を導入し、業務管理の一元化と効率化を実現している。

士業の顧客管理と案件管理をkintoneで一元化。データの収集と集約に欠かせないkrewSheet。

※記事の内容は取材当時（2019年9月）のものです



- すべての業務が紙ベース
- 顧客管理と案件管理を一元化
- 情報管理方法が人依存のため
- 情報の共有が可能になった
- 大口顧客の情報管理もkintoneに移行できた
- kintoneが完全な顧客管理システムとして機能

■ kintone導入前の課題

構造的に情報共有しづらく紙での管理が主流の士業

社会保険労務士事務所や弁護士事務所など一般的に士業と呼ばれる企業での業務管理は担当者に任されることが多い。めぐみ事務所も同様で、所属する社会保険労務士が自分の受け持つ顧客（企業）の労務管理に全責任を持っている。社会保険や福利厚生の加入手続き、勤怠給与管理といった労務管理はどの企業も法令に従って行うが、資料の保管場所やファイリング方法、案件の進捗管理などは社労士各自の流儀で行うため、情報の共有が全くなかったという。

また、公的機関への申請手続きはいまだに紙で行われることも多いため、士業はITによる情報共有やデータ管理が難しい構造的業界であるといえる。こうした状況に危機感を覚え、めぐみ事務所は業務効率と情報共有の観点からITを活用し紙ベースの管理を見直すことにした。

まずは、案件の進捗管理と社労士のスケジュールを共有するためグループウェアを導入したが、すぐに社内から入力項目が実務に合わない、任意で項目を増やせない、表示が遅いなどの不満の声があがった。案件の活動履歴の共有だけでもとカレンダーや予定機能を使っていたがうまくいかなかった。

■ kintone導入

まずは、労務管理を棚卸しITルールを定める

そんな中、士業向けのITセミナーでkintoneと出会う。kintoneのカスタマイズの柔軟性と自分たちでシステムを組むことができるシンプルさに惹かれ、すぐにセミナーを開催したITコンサルティング企業のスマイルアップに導入支援を依頼した。

スマイルアップによれば社労士業務は個人情報や企業情報を「正確に早くしかも大量に」扱う必要があるため、これをどうITシステムに反映するかが重要だという。

そこでkintoneでシステムを構築する前に徹底したITルールが設けられた。例えば、顧客情報の入力揺れを防ぐため顧客名や会社名などを漢字変換システムに辞書登録し正確な文字列に変換されるようにした。これを事務所内の全PCに設定し入力環境を均一にした。さらに資料を保管する共有フォルダは業務ごとに命名し、すべての顧客に同じ構成のサブフォルダを設置するなど業務を棚卸ししながら細かくルールを定めた。

こうして人依存だった労務管理業務を組織に共有化・習慣化する下準備を徹底的行った結果、kintoneによる顧客

客管理アプリ「見える顧客」とそれに連携する案件管理アプリ「みえる案件」の構築は順調に進み2ヶ月ほどで作成できたそう。

■ krewSheet導入と効果

kintoneが業務のプラットフォームに

「みえる顧客」には企業名や代表者名、住所、電話番号といった基本情報のほか、その企業に訪問する時の1往復の所要時間が登録されている。車での移動時間と駐車場からオフィスまでの徒歩時間を実測したデータである。これにより、みえる案件アプリに訪問記録を登録する際に出かけてから帰ってくるまでの所要時間が入力でき、社労士の作業時間が正確に図れるようになった。



みえる顧客とみえる案件

krewSheetで全顧客の労務管理をkintoneに集約

こうして8割の顧客管理と案件管理の一元化に成功したが、従業員数が4,000人を超える大口顧客だけは移行できなかったという。従業員数が多い企業では雇用者と被雇用者間で交わされる労使協定などの更新手続きが大量にあり、手続きを行う従業員ごとにkintoneの詳細画面を開いてデータを編集・更新することは不可能に近かった。

消し込みや進捗などを視覚化するためにセルや行に色を付けるといったミスを防ぐ運用もできなかったためExcelによる管理が続けられていた。すべての顧客データがkintoneに集約されてこそ効果・成果を測れると考えていたため、現場の更新業務の運用方法を変えずにkintoneにデータを集約できるkrewSheetを採用。進捗によってセルを色づけできるなどExcel管理時代とほとんど変わらない一覧画面を実現できたことで、すべての顧客と案件、工数までをkintoneで一元管理できるようになった。

企業プロフィール

社会保険労務士法人めぐみ事務所

〒 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-4-1
アゼリアヒルズ17階
<http://megumi-jimusho.jp/>

これにより、めぐみ事務所のシステムの価値はさらに広がっていく。今後は顧客管理と案件管理データと連携した請求管理や試算表の作成など経理業務への活用を検討中だ。ミスの許されない集計が多いが意欲的に取り組んでいるという。

Excelと同じ操作性を維持した大口顧客の一覧



krewSheet導入の視点

大口顧客のデータが抜けていてはシステムの価値が落ちてしまうのでkintoneに移行したいとずっと考えていました。krewSheetはその視点で導入しました。



原 和也 様
めぐみ事務所 主任

Excelライクな入力による効率化のためにkrewSheetを導入することもあります。めぐみ事務所さんの場合、基幹システムとして最も大切なデータの収集と集約にkrewSheetが重要でした。（熊谷様）



熊谷 美威 様
スマイルアップ合資会社
代表取締役社長

導入支援

スマイルアップ合資会社

〒 989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-11-3
「D-MURA」1F
<https://niconico-news.com/>



業種	情報通信業
利用用途	請求処理・会計処理連携
導入製品	krewData

kintoneと連携して帳票を出力するプラグイン「RepotoneU」やクラウド型の勤怠管理・交通費清算ソリューション「kincone」を提供する株式会社ソウルウェアでは、kintoneで管理している請求データをクラウド型の会計ソフトに仕訳入力する業務の自動化に「krewData」を採用し、大量の入力業務をなくすことに成功した。

複数の請求管理アプリから会計ソフトに入力するデータをまとめたい。 念願のバッチ処理が行えるkrewDataは一目で導入を決定

※記事の内容は取材当時（2019年9月）のもので

krew導入前の課題

- kintoneで管理している請求データを会計システムに仕訳入力する作業を効率化したい

krew導入の効果

- 複数のアプリにまたがった請求データから仕訳用のデータを自動生成
- 入力業務の大幅削減

■ krew導入前の課題

複数アプリから会計サービスへのデータ入力が手作業

株式会社ソウルウェアは2012年に創業。2期目に入っころにkintoneの開発案件があり、初めてkintoneに触れたことがきっかけでkintoneのカスタマイズ受託開発をスタート。多数のカスタマイズ案件を手がける中「帳票」に関する要望が多いことを知り、2014年には「Repotone」というkintoneと連携するクラウドサービスの帳票をリリース。さらに、翌年にはkintoneのプラグイン完結型の「RepotoneU」を発売した。現在は7期目ということでkintone界隈では老舗として有名だ。

RepotoneUはPDFの帳票レイアウト設定をすべてkintoneの画面の中でできるのが特長。顧客側で設定してすぐ使えるというスタイルがニーズに刺さった。RepotoneUはサービスイン直後から引き合いが多く現在ではシリーズ合計で1,100ユーザーが利用している。ちなみに製品名の「U」は、あなた（You=U）が自分で設定できますという意味だという。

こうして順調にユーザー数を伸ばすなか、売上げを仕訳けて会計ソフトに入力する業務に課題が発生した。ソウルウェアでは受託案件の管理や製品の販売管理、請求管理をkintoneで行い会計処理はクラウド型の会計ソフト

「freee」を導入している。RepotoneUのユーザー数が多くなると当然売り上げをfreeeに入力するための仕訳作業の手間も増える。

RepotoneUには買い切り型のライセンス契約やサブスクリプション契約など契約形態の異なる複数の製品がある。その上受託開発業務の売上もあり、それぞれ請求形態が違うため複数のkintoneアプリでデータを管理している。freeeにはこれらのアプリを見ながら1件ごとに手作業で仕訳入力しなければならず、とても手間がかかっていたそう。

異なる請求形態のデータを1つのCSVファイルにまとめられればfreeeに取り込むことは簡単なので、複数アプリに散らばっているデータを統一し、毎月決まったタイミングで自動的に請求データを生成したいと考えたが、この機能を自社ですべて開発するには工数がかかり大変そうだと頭を悩ませていた。

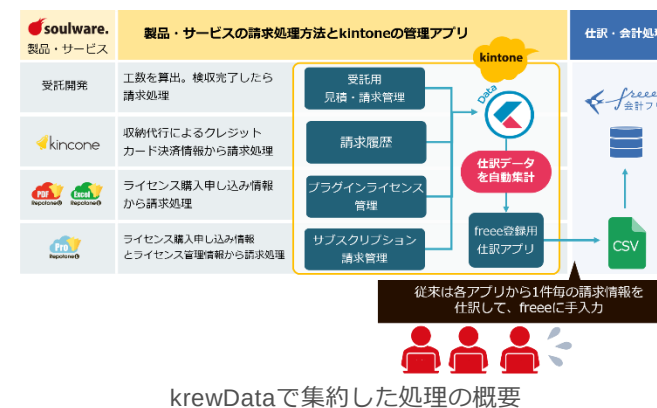
■ krewDataの導入

複数アプリのデータを自動集約する機能を半日で作る

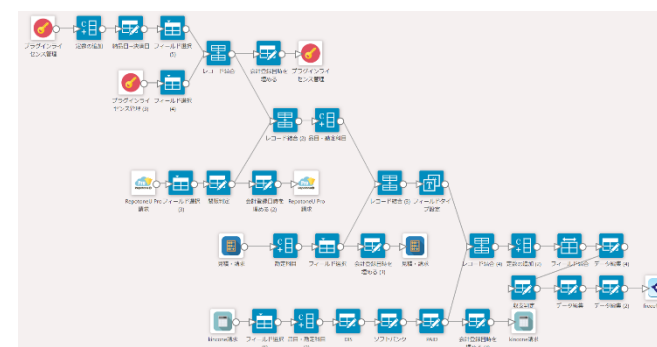
そんな中、2018年11月に複数のkintoneアプリのデータを自動集計できるkrewDataのリリースを知り即テスト導入。krewDataで各アプリから請求情報を集めてfreeeに

登録できる形に成型する集計フローを半日で作成した。kintoneのカスタマイズに詳しいこともありヘルプに頼ることもなかった。

成型したアプリのデータをCSVでダウンロードし、freeeにインポートすれば仕訳は完了だ。アプリには日々データが追加されるがfreeeには新規データだけを登録しなければならない。そこでkrewDataの処理中に会計登録日時を元のアプリのデータに書き込むようにするなど、重複処理をしない工夫も凝らされている。機能に加えkrewDataのユーザーインターフェースの使いやすさも決め手となり本格導入が決定した。特にトラブルもなく、目的を達成できているという。



krewDataで集約した処理の概要



krewDataの集計フロー

■ krewData導入の効果

入力作業から解放され次は請求業務の自動化を狙う

krewDataにより仕訳データを自動作成することで、1件ごとに手入力していた作業から解放された。毎月何百件もの入力作業が不要になった効果は大きい。だがバックオフィスの業務改善はこれにとどまらなかった。

企業プロフィール

株式会社ソウルウェア

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル14F
<https://soulware.jp/>

ソウルウェアではRPAを毎月の請求書発行業務に利用している。具体的にはkintoneをカスタマイズし既存顧客の前月の請求書をコピーして翌月分に書き換えているのだが、この機能はkintone上で操作する必要があるためRPAで実行。これをkrewDataとRepotoneUを連携させ帳票発行まで自動化できないかと考えた。このアイデアはグレースシティとのパートナー連携による協業の中で実現。2019年9月3日のkrewDataのアップデートで編集コマンドに「RepotoneU 出力」が追加されたのだ。



データ編集フローにRepotoneU 出力を組み込み、スケジュール機能で実行日を設定することで日々の案件をkintoneアプリに登録するだけで請求書発行までを自動化できるようになったという。自社サービスのRepotoneUとkrewDataを組み合わせることで会計・請求業務を大幅に効率化したソウルウェアはシステム開発の本業に集中できる環境を整えたという。

今後もさらに業務効率を改善しRepotoneUシリーズを成長させていく構えだ。



krewData の使いやすさ

RepotoneUはユーザーインターフェースが使いやすいと高く評価されていますがkrewDataを一目見たときにRepotoneUと同じくらいこだわっていると感じました。関数もExcelと同じものがそろっているので、システム構築をある程度知っていればすぐに使えると思います。



吉田 超夫様
株式会社ソウルウェア
代表取締役

krewシリーズの導入支援パートナー

krewシリーズの導入支援については、ソウルウェアのお問い合わせフォームからお申し込みください。
<https://soulware.jp/contact/>